

「関節包付着範囲に注目した頸椎椎間関節の解剖学的研究」に関する研究

1. 研究の対象

防衛医科大学校に献体された御遺体のうち、2020年4月～2022年12月に解剖学実習の対象となった、又はなる御遺体。

2. 研究目的・方法・期間

頸椎後方手術において椎間関節および同関節包を温存することは、術後不安定性を予防する上で重要です。椎間関節包付着範囲を明らかとすることによって、手術の低侵襲化に寄与することを目的とします。

防衛医科大学校に検体された遺体5体を使用します。頸椎椎間関節を肉眼的および組織学的に観察し、関節包付着範囲を明らかとし、これを学術集会ならびに学術誌に報告します。

研究期間は学校長承認後2023年12月まで（雑誌投稿時）を予定します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

頸椎の写真、解剖学的所見、組織標本などの情報を研究対象として用います。本校の献体事務室において匿名化して使用し、学会発表や論文執筆の際にも個人情報の保護には最大限配慮いたします。

4. 研究に用いる試料・情報の管理についての責任者

個人情報の対応表は、解剖学講座の講座佐々木宏事務官が保管・管理します。

5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについてご遺族に了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも故人・ご遺族に不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

（研究責任者、研究代表者）

防衛医科大学校整形外科学講座 北村 和也

〒359-8513 埼玉県所沢市並木 3-2

（電話）04-2997-1511